【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2015-27045(P2015-27045A)
【公開日】平成27年2月5日(2015.2.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-008
【出願番号】特願2013-156904(P2013-156904)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/374　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/345　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/378　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　9/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/335　７４０
Ｈ０４Ｎ　5/335　４５０
Ｈ０４Ｎ　5/335　７８０
Ｈ０４Ｎ　9/07　A
Ｈ０４Ｎ　9/07　C

【手続補正書】
【提出日】平成28年2月9日(2016.2.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８５】
例えば、Ｒ画素（３，２）とＲ画素（７，２）とを、垂直方向に３：１で重み付き加算することで（Ｓ２２）、Ｒ画素（４，２）が得られることになる（Ｓ２３）。また、Ｂ画素（３，４）とＢ画素（７，４）とを、垂直方向に１：３で重み付き加算することで（Ｓ２２）、Ｂ画素（６，４）が得られることになる（Ｓ２３）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８６】
また、４行目と８行目には、Ｇ画素が１列おきに配置されているので、Ｇ画素（４，２）とＧ画素（８，２）とを、垂直方向に１：１で均等に加算することで（Ｓ２２）、Ｇ画素（６，２）が得られる（Ｓ２３）。また、Ｇ画素（４，４）及びＧ画素（８，４）の位置ではＧ画素をそのまま利用することで、垂直方向の重み付き加算を行うことなく、Ｇ画素が得られる（Ｓ２３）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０２】
例えば、１行目には、１列おきにＲ画素とＢ画素が交互に繰り返し並んでいるが、Ｒ画

素（１，１）の画素信号は、図６の１回目のAD変換により、画素共有（１，１）内のＲ画素から読み出され、AD変換された画素信号に対応している。また、Ｂ画素（１，３）の画素信号は、図６の１回目のAD変換により、画素共有（１，２）内のＢ画素から読み出され、AD変換された画素信号に対応している。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５７】
重み付き加算回路部２５２は、水平重み付き加算回路部２５１からの出力（Ｓ６２の画素配列）が、ベイヤー配列の画素の並びになるように、重み付き加算処理を実行する（Ｓ６２乃至Ｓ６４）。